

番号	課名
G - 1	農業委員会事務局

事務事業名	農地集積・集約化対策事業費補助金(機構集積支援事業)	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成
	施策の課題(事務事業の実施目的)	農業者の高齢化により、市内では遊休農地が年々増大する中で、新規就農者や規模拡大を図る既存農業者を中心に農地の需要は高まっています。	
	関連施策名(施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現
		IV-11-22	うすきブランドの強化と6次産業化の推進

事業内容(経緯)	農業の重要な生産基盤である農地について、その確保及び有効利用を図っていく事を目的に、農地の利用状況調査及び利用意向調査を実施し、耕作放棄地および遊休農地等の調査・確認・指導等に取り組みます。その中で、更に担い手への農地集積を推進するため、遊休農地等の所有者に対して農地中間管理事業への移行や農地の賃借の更新等の働き掛けを実施します。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	農地利用状況調査面積	農地の利用状況調査実施面積	ha	2583	2632	2430	2361	2324
②	遊休農地解消指導面積	遊休農地所有者への意向調査実施面積	ha	54	127	434	452	485
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	農地集積1ha当たりの費用(千円)					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	総事業費/農地集積面積				
	1,743	1,731	内容	会計年度任用職員賃金・消耗品費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	県支出金・一般財源			30.5	73.6	76.6	45.2	30.2

事業対象	市内に農地を所有する者	今年度の成果	市内全農地の利用状況調査や遊休農地の所有者に対して意向調査を実施することで、農地中間管理事業等の利用が推進され、農業者が新たに農地を確保することができました。
------	-------------	--------	---

成果指標	指標名	担い手への新規集積農地面積			単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	新規に、耕作を目的とした権利移動や賃借権の設定が行われた土地の面積				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	農地を効率的に利用する耕作者による権利の取得が促進されており(農地法第1条)、上記面積を成果指標とした。			ha	65.00	26.62	24.50	38.60	57.38

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	農地の利用状況調査や所有者の意向確認等により集積面積の増加に繋がり、有効性は期待通り効果ありと評価できます。効率性のコストは減少しているものの、依然として多くの遊休農地が存在しているため、改善の余地があると考えます。				

事業の問題・課題	高齢化等により農業者の減少が見込まれる中、条件不利地を中心に遊休農地は増加傾向にあり、農地の集約化や大区画化といった条件整備のほかに、地元農業法人の規模拡大や担い手の確保、育成等の対策が必要です。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。